

岩沼市議会議員選挙

# 布田 えみ



岩沼市議を公認

立憲民主党は、12月24日投票の岩沼市議会議員選挙に  
布田えみ市議（現4期目）の公認を決定いたしました。

布田えみ市議は、『元気なまち岩沼』をスローガンに奮闘中です。  
コロナ禍にあっても、市民生活の安定と向上、子どもたちや若者が夢や希望に向かって進むことができる社会を目指し、今日も走り続けています。

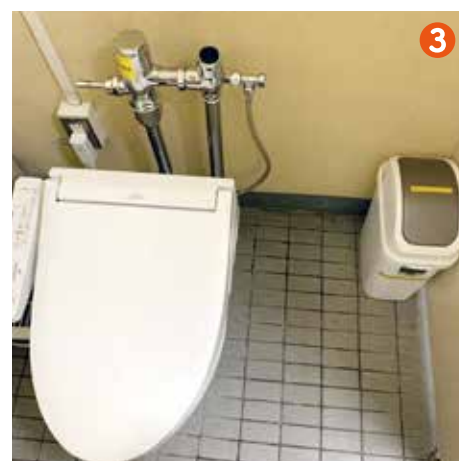
大好き!いわぬま

## 政策提言と実現力に高い評価

積極的な政策提言と、その実現力は議会内外で高い評価を得ています。この4年間でも毎回の議会の中で政策提言を重ねて、**①西子育て支援センター内に室内遊具スペース設置提案と実現** **②フードロス対策につながるフードドライブ事業（消費期限内の食品の回収・提供を必要な方への支援に活用する）の実現** **③男性トイレへのサンタリーボックス設置提案と実現** **④防災士意見交換会開催の提案と実現** **⑤「やさしい日本語」の学びと発信の場開催提案と実現**…地域にも増えている外国人労働者や誰にとっても暮らしやすい地域実現のために欠かせぬ多文化共生社会の推進 などがあります。その他、市民皆さんの声を丁寧に聞き取り、寄り添う支援を重ねてきました。

布田えみ市議は、「おかげ様」「お互い様」の力合わせで「地域の困った」を解決する地域力を高め、魅力ある街を目指しています。

実現  
しました



連合宮城・退職者の会皆様から  
岩沼市長へ要望書手交



立憲民主党所属県内沿岸部県議・市議  
でのプロジェクトチームを結成、関係団体  
からのヒアリングを重ねて宮城県知事へ  
要望書の手交



# これからも

## 1 子ども・若者の未来を応援します

- ①妊娠から出産、産後、子育ての切れ目のない支援の拡充
- ②命と人権を大切にする教育を推進
- ③少人数学級の拡充と教職員の負担軽減
- ④子どもの貧困と虐待防止対策
- ⑤学校給食費の無償化と教育費の負担軽減

## 2 いのちと暮らしの安全・安心・安定を拡げます

- ①安心して暮らせる防災、防犯の仕組み推進  
※防災士（2008年～）として活動中
- ②多文化共生社会と支え合いの地域社会推進
- ③救急医療・在宅医療など地域医療体制の拡充
- ④持続可能なエネルギー政策を進め、低炭素社会を推進
- ⑤空き家の利活用

## 3 元気な自治体を目指します

- ①地元中小企業や新規起業、就業支援
- ②交流人口、関係人口の拡大  
※空の駅整備推進…地場製品の発信・販路拡大  
※ハナトピア岩沼整備の推進  
食育・木育・花育を通じての交流拠点整備
- ③農業の担い手育成、就農支援、有機農業の推進

## 4 市民力を活かした市政運営と開かれた議会を目指します

- ①情報公開と市民参加型の市政運営と開かれた議会の実現
- ②ジェンダー平等、多様性を認め合えるまちづくり推進
- ③世代間交流など地域活動の担い手育成と活動拠点整備
- ④デジタル社会化にあたって情報格差対策



### PROFILE

岩沼市議会議員4期 16年。北海道から、母親の故郷である宮城県の宮城学院女子大学へ進学。結婚後、家族とともに岩沼市で暮らしてきました。子育て、地域活動、音楽院主宰、震災、復興への取り組みなどの経験を生かして提案・提言を重ね、「元気なまち岩沼」に向けて行動しています！

4期16年◆即戦力の強みを生かして

**布田えみ** はこれからも  
目指します！

皆さまとともに、元気なまち岩沼



岡本あき子衆議院議員・石垣のりこ参議院議員と共に「議員活動報告会」「茶話会」開催を通じて地域の皆さんと共に語り合い、地元の声を県政や国政に届けてきました。

対談



東北の空の玄関口、仙台空港。新型コロナウイルスの影響で運休していた国際線が、昨年末から再開されました。仙台空港を拠点とした地域の活性化について、石垣のりこ参議院議員と対談しました。

**えみ**：現在、岩沼市は、仙台空港南側の県有地に空港周辺のにぎわい創出と新たな魅力作りを目指して、民設民営の施設「空の駅（仮称）」の整備を進めています。具体的には、飛行機の離発着を眺めながら食事や温泉入浴、広場で遊ぶことができるような施設です。

**石垣**：臨空地ならではのメリットを生かして、ということですね。仙台空港の旅客数は年間およそ385万人（2019年）で、将来的に550万人を目指しているということで、大きな可能性がありますね。

**えみ**：そうですね。国内外の多くの方が仙台空港を利用しているのに、空港が立地する岩沼市は通過点になってしまっているのは勿体無いですし、もっと岩沼市の魅力を発信できて、かつ、地元の皆さんが楽しめる施設となるように2026年度内完成を見込み検討が進められています。

**石垣**：およそ3年後なんですね。交流人口を増やすことはもちろん、地元の皆さんが日常的に利用できる施設であることが、経営の継続という点でも重要ではないでしょうか。

**えみ**：導入すべき施設は、地元の方たちからのアンケートも反映されていて、「地場産品が買えるお店」や「キッズスペース」はじめ、「スカイラウンジ」などのご意見もありました。今後は、そうしたご意見を盛り込んだ基本計画に基づいて、事業者の公募が始まります。

**石垣**：民設民営ということですが、地元へ資する施設にするために、立地自治体として岩沼市の責任も大きいですね。

**えみ**：はい。災害対策やバリアフリー化も含め、誰もが使いやすい施設にしていく必要があります。まずは、市民の皆さんに計画の進捗状況をお伝えし、いただいたご意見を議会質疑にも反映させていきたいと思っています。

**石垣**：岩沼市の魅力が感じられる場所になるように、私も「地域主権」の視点から注目していきたいと思います。

岩沼市から世界へ

